



学校だより 諏訪の森タイムス

令和 5 年 7 月 20 日
南島原市立深江小学校
校長 末吉 優

一学期終業式(校長の話)より

一学期を振り返ると、どんなことが思い出されるか。一学期の始業式で、「一人一人が、夢や高い希望をもってほしい。その夢や希望を実現するために、自分の学びや生活を自分やみんなの力でつくってほしい。」とお願いした。



まず、一つ目に、「一人一人が主役となり、時間やきまりを守った上で、みんなが安心して学び、友達と仲良く遊ぶ楽しい学校生活をつくろう」ということ。落ち着いた中で授業に参加することは、よくわかる学びにつながる。決して、友達の勉強の妨げをしたり、勝手に席を離れたり、おしゃべりや手遊びなどをしたりすることは良くない。また、自分の考えを発表したり、友達の考えを聞いたりして、しっかり話し合わなければいけない場面もある。

二つ目に、大切にしてもらいたいこと、頑張ってもらいたいことを、三つの「あ」でお知らせした。すべて、みなさん自身の責任と相手への思いやりを考えたものである。

- ① 出会った人に、自分から、気持ちよく挨拶ができたか。 → 相手に気持ちよさを届ける挨拶。
- ② ものの受け渡し、友達にしてもらったとき、助けてもらったときなど、「ありがとう」という感謝の気持ちを伝えることはできたか。 → 自然とお辞儀が加わり、人柄も伝わったことだろう。
- ③ 自分が履いたトイレのスリッパ並べ、使った物のあとしまつ、掃除道具の整理整頓などどうだったか。 → 後の人が気持ちよく使うことができるようにできたか。

自分が何を頑張るか、どんなことに力を出すか、その目標をもって取り組み、前進するのが一学期だった。そういった頑張りを担任の先生方は、「あゆみ(通知表)」に記されている。校長から見たみなさんの姿は、学習や生活、行事などの様々な場面で力を出したり、協力したりする嬉しい姿だった。

一学期に頑張ったことを夏休みの生活や二学期の学習や生活につなげてほしい。

明日から夏休み。これまでの学校へ通う生活と一番の違いは、**毎日の生活を自分の力でつくっていく**ということ。「あいさつ、ありがとう、あとしまつ」を生かして自分の生活を「つくる」ということ。どのような夏休みをつくろうか、とワクワクしている人も多いかと思う。普段できないことにチャレンジし、実現してほしい。



素敵な夏休みをつくれるよう、**健康や安全に気を付けてほしい**。暑い日が続く。熱中症に気を付けてほしい。冷房を程よく使わなければならないが、冷やしすぎることで体調を崩すこともある。

もう一つは、事故に遭わないように気を付けてほしい。気が緩み危ないところへ行ったり、危ない遊びをしたりして**事件や交通事故、水の事故に巻き込まれないようにしてほしい**。「命」を大切に。自分でしっかり気を付けて楽しい夏休みになるようしていただきたい。

☆ 田中順子先生、ありがとうございました ☆ (学級園の小玉の試食→)

高橋優妃先生の育児休暇のため、4月1日より2年1組の担任をお世話いただいた田中順子先生が、7月21日をもって退職なさいます。普段の教科等の授業では、学級園の子供たちに、たくさんの元気をいただき、はつらつと授業を進めていただきました。



また、学級園の花や野菜を育てる喜びを子供たちに与えてくださいました。みどり学習苑となりの畑には、スイカの苗を植え、すくすくと生長していましたが、残念ながら収穫するまでにはあとわずかでした。スイカができましたら、2年生みんなまで分けたいですね。もちろん、田中先生、高橋先生にもお渡しします。

6年1組 国語科研究授業より

7月5日(水)5校時、研究主任:横田砂織先生が、学習指導案を何度も練り直し、当日の授業に臨みました。「雪は新しいエネルギー」という説明的文章の導入(1時間目)を行いました。明確な学習のゴールを提示し、ゴールへ向かう意欲が高まるように、児童の発言や対話を引き出しながら、筆者の説明の工夫に着目させていくという授業展開でした。

先生方の感想に、「素直さが一番。素直に受け入れることが、学びに向かう心と態度を育て、身に付けるべき学習内容を吸収できる。」とありました。お互いを認め合う雰囲気の中で、自分の学びを学級みんなに発信し、深め合うことができる。その積み重ねが、今、学習指導要領に求められている『主体的・対話的で深い学びに』つながっていくのではないかと思います。



6年租税教室 7月6日(木)

島原市にお住まいの税理士:松田様に来校していただき、「租税教室」を実施しました。DVDを視聴する中で、税金の使われ方や税金の種類を確認しました。税金の種類がたくさんあることに驚いていた児童が多かったそうです。松田さんとの対話をとおして、子供たちは税について楽しく学ぶことができ、税金への興味関心が高まったようでした。



3年 かまぼこ工場見学 & かまぼこづくりにチャレンジ 7月13日(木)

今年も、「しきしま蒲鉾店」様のご厚意のもと、工場見学とちくわ作りの体験活動をさせていただきました。社会科学習で児童の身近にある工場見学をとおして、生産の仕事に興味をもち、生産の工程、働く人の工夫と願いを考えるとというねらいのもと行いました。

天候も心配されましたが、サイクリングロードを利用し、安全に気を付けながら徒歩で目的地を目指しました。衛生管理が徹底された工場では、子供たちは少し緊張気味で、説明を受け、ちくわ作りに挑戦しました。

体験活動を終わると、別室で質疑応答があり、大事なことは落とさないようにメモをとるなどして学びを深めていました。また一つ、児童が深江のよさを感じ取る「ふるさと教育」に足跡を残しました。



<様々な機械の見学>



<ちくわ作りにチャレンジ>



<社長さんからの説明 >



<質問タイム>

広報資料を配布しています

別紙のとおり、長崎県教育庁義務教育課人事班より、「ペーパーティーチャーセミナー」(学校で働いてみませんか)の資料配布の依頼がありましたので、お配りしています。

教員免許をお持ちの方で、興味のある方がお近くにいらっしゃいましたら、QRコードからアクセスされてください。